

病院運営の基本方針と具体的な実施項目

資料2

基本理念「地域に親しまれ、信頼され、愛される病院」

住民・患者に選ばれる病院、開業医に選ばれる病院、医師、看護師に選ばれる病院をめざして

基本方針	具体目標	具体的な取組み事項
1、市民生活の安全安心のための医療充実に努める。	地域医療の拠点病院として、急性期を中心とした医療体制の提供に努める。	病院の運営方針の明確化
		医療機器、施設設備の充実
		電子カルテの導入
		予約の推進、受診の効率化
	救急医療体制を維持し、市民が安心して生活できる二次救急医療の提供に努める。	医師会との機能分担
		医師会、消防署、関係機関とのネットワーク化
		3次医療との連携強化
	情報発信に努め、定期的に地域との連携の場を確保するなど、地域に開かれた病院を目指す。	病院から地域への情報発信
		病院あり方懇談会の継続
		市民組織との連携・市民ボランティアの拡充
	高齢化の進行に伴い、受診するための公共交通機関の確保の検討を市とともに行う。	交通網の整備（利便性の向上）
	2、高度先進医療及び地域医療機関との連携を強化する。	高度な医療を必要とする4疾病などの治療は、急性期と回復期医療の中心的役割を担いつつ3次医療機関との連携を図る。
4疾病の自己完結率向上		
回復期リハビリの充実		
1次医療機関（診療所）との連携を強化する。		医師会との連携強化・在宅医療の連携
		かかりつけ医制度の周知
		病診連携による機能分担と紹介率の向上
圏域内の2次医療機関との連携を図る。		平成記念病院との連携
		雲南圏域2次医療機関との連携
		健康相談の開催や支援
		地域医療との連携
3、地域保健の充実と介護・福祉との連携に努める。	市の保健・福祉と一体化した地域医療サービスに努める。	在宅医療の充実
		ケーブルテレビ等を活用した健康教室
		生活習慣病予防活動の推進
		関係機関との定期的な連絡会議の開催
	地域保健と連携し、糖尿病など生活習慣病の重症化予防に努める。	地域連携バスの導入
		リハビリテーションを中心とした療養環境を整備し、高齢者が安心できる医療を提供する。
		オープンベッド（開放病棟）・検査機能の活用
		精神科病棟・医療型療養病床の検討
4、地域医療を安定的に提供するための健全経営に努める。	安定した医療を提供できる人材確保や育成に努め、また職員意識の高揚を図る。	大学との連携強化
		地域医療人育成センターの充実
		院内保育所の設置
		雲南市出身医師の把握と呼びかけ
		中学・高校生の体験の場づくりや学校への医療職の派遣
		医学部、看護学校への地域枠推薦や奨学金利用促進
		職員の意識改革（接遇の向上、人権尊重と医療倫理の徹底）
	職員研修と専門職の養成、人事交流の実施	
	経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努める。	運営形態の見直し
		院内組織の見直しと体制の強化
		病院の建替えの検討
	市（一般会計）との連携を密にし、適正な繰入基準による健全経営に努める。	繰入基準の明確化